

【新庄市】

地震災害 行動マニュアル

地震が起きたらどうしますか？

大地震が起きた際、落ち着いて行動するには、日頃から最悪の事態を想定し、取るべき行動を確認しておくことが重要です。

「普段やっていないことは本番でもできません。」

■防災行政無線放送音声ガイドサービス ☎22-5121

防災無線で放送された内容を電話で確認できます。

■あすラジ FM89.6MHz

新庄市が発表する防災情報をお届けします。

■YAHOO！防災速報※

新庄市が発表する防災情報が届きます。

スマートフォン QRコード



©新庄市×富樫義博

(※ アプリのダウンロードが必要です。)

地震災害時の行動

身の安全が最優先

- 倒れてくる物から身を守る
- 座布団など手短なもので頭を守る
- 冷蔵庫、タンスなどから離れる
- 戸を開け、逃げ道を確保
- 2階にいたら無理して逃げない
- 慌てて外に飛び出さない

日頃の備え

家の安全点検をしよう

- 耐震診断の実施
- 家具の転倒防止
- 高いところに物を置かない



大地震
発生！
0～2分

火の始末
0～2分

家族の
安全確保
5～10分

隣近所の
救出・救護
10分～半日

地震災害時の行動

家族の安全確保

- お年寄り・子供を安全な場所へ
- 救護が必要なら大声で叫ぶ
- 家屋倒壊の恐れがあれば避難
避難する場合は、ブレーカーを落とし、
ガスの元栓を閉める



地震災害時の行動

家族で防災会議を開こう

- 分割分担や連絡方法を決めておく
- 高齢者などを守る準備



ガラスによるケガ防止

- スリッパや運動靴を準備
- 飛散防止フィルムで補強する



親族等へ自分の居場所を 伝えよう

災害伝言用ダイヤル(☎171)や
携帯キャリアが提供する災害伝言
版を活用しましょう

指定緊急避難場所

指定避難場所

地震災害時の行動

速やかに始末、初期消火

- 足元に注意し行動、ガラスに注意！
- 火が出たら大声で周りに知らせる



日頃の備え

自信を持って消化できるよう 防災訓練に参加しよう

- 消火器を備え付け、使用方法の確認をする
- 断水に備え、風呂水のくみ置きをしておく

地震災害時の行動

隣近所の救出・救護
落ち着いたら隣近所の人たちの安否確認を
しましょう。また、協力し合って被災者の
救助、救護を当たり前にしましょう



日頃の備え

普段から隣近所の協力体制を 作っておこう

- 防災訓練への参加
- 避難所、避難場所の確認



非常用持出品（一例）

- ヘルメット、防災頭巾
頭を守る
- 懐中電灯
停電時、移動の際に
- モバイルバッテリー
電源を確保(ソーラー充電式がお勧め)
- 救急医療品、常備薬
キズ薬、解熱剤など
- 貴重品
通帳、免許証など



非常備蓄品（一例）

- 非常食
簡単に食べられるもの
- 飲料水
1日 3リットルを目安に
- 生活用品
衣類、毛布など
- 工具類
スコップ、バールなど



※物品は、新庄市のハザードマップを参照